



いたびつ 板櫃 <校訓>
真理の探究
自主躍進



令和5年6月19日(月)発行
校長 栗原博巳
北九州市小倉北区白萩町8番1号
HP: www.kita9.ed.jp/itabitsu-j/

<学校教育目標>

自立・共生～自立心にあふれ、他を思いやる心をもった生徒の育成～

<目指す生徒像>

- ① 「時を守り、場を清め、礼を正す」生徒(凡事徹底)
- ② 自ら考え、正しく判断し、進んで学習や諸活動に取り組む生徒(自立)
- ③ 思いやりの心を持ち、協力し合って集団生活の向上に努める生徒(共生)
- ④ 与えられた仕事に対し、役割を果たすことのできる生徒(責任)

部活動夏の大会へ向けて～誇り・自信・感謝～

中学生にとって最も大きな大会、夏の大会がいよいよ目前に迫ってきました。

夏の大会は、3年生にとって大きな意味のある大会です。今年は、応援や観客の制限がない大会となると思います(競技によって対応を確認してください)。ぜひ悔いのないプレーをして、今まで先輩が積み重ねてきた板櫃中学校の歴史に新しいページを加えてください。

とはいえ、日ごろの練習の成果を十分に発揮することに、まずは全力を傾けることになるのだらうと思います。この「本番で実力を100%発揮する」ということが、実はすごく難しいことであることは、世界共通の課題のようです。



陸上部の区内大会から夏の大会はスタートしています。今週の土日はサッカー、卓球、軟式野球の区内大会が行われます。応援してくれている530人(自分も含めて)の仲間や先生方、保護者の方はみなさんの味方です。さらにもう一人、心の中に味方を増やすことで、達成感に満ちた素晴らしい夏にしてください。

【部活動激励会 生徒会長の話】

まず、今回の部活動激励会を開いてくれた1・2年生のみなさんありがとうございます。新型コロナウイルスの影響で、しばらくできていなかったため、今年することができてとても嬉しく思います。この会が、来年からも例年通り板櫃中学校の伝統として受け継がれていくことを願っています。3年生は最後の大会、コンクールになります。これまでのすべてを出し切って悔いのないものにしてください。生徒一同応援しています。

【部活動激励会 校長先生の話から】※当日の内容を少し変えています。

みなさん、こんにちは。今日は部活動激励会ですが、今からの話は、学校で活動している運動部、文化部、そして、地域のクラブやチームで活動している全員へ向けての話です。6月10日の陸上部の区内大会を皮切りに、夏の大会が始まりました。今日は、3年生が今まで練習してきたことを大会やコンクールで発揮できるよう、全校生徒でエールを送りましょう。

3年生のみなさん、この3年間は先輩たちのようにコロナの影響で思うような練習や練習試合ができない時期もありました。悔いはあると思いますが、今、もっている力を出すしかありません。

この3年間の部活動や校外の活動で、みなさんは大きく成長したと思います。それをこれからの中学校生活はもちろん、卒業後の高校生活、その後の長い人生においても生かしてほしい、その区切りとなる今回の試合に今できる全力で挑んでほしいと思います。

そして、もう一つ、この夏の大会は、たくさんの人たちの願いが込められた大会です。これまで見守り続けてくれた保護者の方へ、汗や涙を共に流した仲間たちへ、練習を支えてくれた後輩たちへ、指導して下さった先生方へ、審判や大会運営など試合に関わってくださる多くの方々へ、今できる精一杯のプレー、コンクール、作品で、感謝の思いと感動を届けてください。板櫃中の先生方も学校から皆さんの活躍を応援しています。

最後にいつも言っていることですが、試合はもちろん、会場での態度、マナー、応援を含め、「板櫃中プライド」を忘れず頑張ってください。以上で校長先生の話を終ります。

